

「3つの価値観」と「33の原則」方式，そしてWP作文対応

『技術文章の書き方（基礎編）』

[1] 研修の概要

このセミナーでは、各種の技術系の文章を書くときに参考となる、書き方の「手順・原則・ノウハウ」などを説明し、実習します。

カリキュラムは「文章の技術内容」と「文章の表現法」とに分かれ、3つの価値観と33の「文章書き方の原則」を中心に説明します。この原則はWP（ワープロ）作文にも対応しています。

短時間の受講で、技術文の「文章力」を確実にアップすることができます。

参考書として講師著の「技術文章の書き方」（日刊工業新聞社刊）があります。



[2] カリキュラム

1 技術文章の構成

技術文の内容（データ・情報・意見・主張）
形式（見た目・フォーマティング）

技術文の表現（表現・構成）

2 技術文章の内容

調査対象

意見・主張のまとめ方

構成までの手順

3 技術文章について

技術文章の3つの価値観

「象は鼻が長い」は問題でない

ソフトと比べて文章は本来いい加減

多くの人を読む文章は、うまくて当たり前

文章力は急に上がらないが、原則なら覚えられる



4 表現上の原則 < 33の原則 >

単語の原則（「用語解説」「専門用語」「一部一語」等）

文節の原則（「非翻訳調」「冗長短縮」「単語調和」「修飾語近接」等）

文の原則（「一文一意」「文末変化」「主客分離」等）

段落の原則（「理論接続」「段落構成」「一段一論」等）

他の原則（「図表活用」「付録利用」「余白活用」等）

5 各種原則の例文演習（10題）

6 例示

類語

箇条書き

構成例

コピー文例

書き始めと書き終わりの例

文書の例

ワープロの機能例 等

7 実習

原則にそって自分のテーマで文章を作る

< 講師紹介 > 後藤 国彦（ごとうくにひこ）

企業で研究開発・新商品企画・コンピュータ事業・教育などを担当、現在『創造性発揮』『技術文章の書き方』『企画力向上』『創造性を用いた課題解決』『技術者のマーケティング』『コンピュータ知識』『新人技術研修』などのコース開発と講師、日能・生産性本部・大阪府・京都府等で講演と研修、大阪府出身、大阪大学工学部卒、著書に『技術文章の書き方』（日刊工業新聞社）、『知的発想の方法』（日本実業出版社）、『VEAM法』（日本VE協会・共著）、主な論文に『日本で最初にコンピュータを創った男』『コンピュータ動向』など

